



大森二中だより

令和元年度 大森二中の合い言葉「思いやり」

令和元年度 第9号
大田区立大森第二中学校
校長 菅原 淳一
TEL 3762-6456

式 辞

暖かな日、寒い日を交互に繰り返しながら、ゆっくりと、しかし確実に季節が春へと向かっています。校庭に並ぶ桜の枝には、小さな堅い芽が日増しに増え、膨らみ始めました。

厳しい冬をじっとがまんしていた生き物たちが一斉に待ち焦がれた春がやってきました。

本日、多数の保護者の皆様のご臨席を得まして、本校、第73回卒業式を盛大に挙行できますことを、心よりお祝い申し上げます。

卒業式に先立ちまして、新型コロナウイルスによってお亡くなりになりました方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、一日も早く流行が終息されますことを願っております。

このような状況下、誠に恐縮に存じ上げますが、卒業生、教職員、保護者の皆様方のご臨席をもちまして挙行させていただきますことをご理解ください。

保護者の皆様方に本校を代表し、心より御礼を申しあげます。

只今、卒業証書を授与されました158名の皆さん。ご卒業おめでとうございます。

皆さんは、本校の教育目標である「深く考える人になろう」はもとより、この3年間「思いやりの心」を育むことを日頃より積み重ねてきました。そして、本日、晴れて義務教育としての卒業の日を迎えられました。

これは、勿論、皆さん一人ひとりの努力ではありますが、同時に、温かい愛情を持って励まし支えて来られたご家族、さらには本校創立以来、ご支援を頂いております地域の皆様方のお陰でもあります。どうぞこの点にも思いをいたし、感謝の気持ちを忘れないでください。

保護者の皆様におかれましては、卒業を迎えられましたお子様の姿に感慨も深いことと存じます。本校の教育活動に寄せられました皆様の深いご理解とご支援に対しまして、厚く御礼申し上げます。

卒業生の皆さんは、仲間と共に過ごした日々が、今走馬燈のように思い出されることと思います。心身ともに立派に成長した自分自身の姿に自信と誇りを持ってほしいと思います。

3年前、皆さんは、希望と緊張がいっぱいの「入学式」を迎えられましたね。そして、一番思い出深いのは「運動会」と、アプリコ「合唱コンクール」です。応援団の絆、クラスの団結はとても素晴らしいものです。また、「地域清掃ボランティア活動」や「修学旅行」「部活動」などたくさんありましたね。

その中でも皆さんは今年、最高学年としての「二中生プライド」を多くの場面で見せてくれました。そして、下級生への良き手本となる姿を見せてくれました。

今日は皆さんが卒業後も自分の意志でしっかりと歩いて行ってもらいたいという願いを込めて、お話をいたします。

それは「いつも、ワクワクした体験、豊かな発想力を高めるために、自分とは違う人々との会話をとても大切にしてください」ということです。その思いは、きっと皆さんのこれからの人生を楽しくします。そして自分の進みたいように生きてください。夢はきっと実現するもの。そう信じてこれからの人生を生きてみてください。

皆さんは、小学校課程、そして大森第二中学校と義務教育を終え、これから未来へ羽ばたこうとしています。米グーグル社の創業者、ラリー・ページは、近い将来、10人中9人は今の時代とは異なる仕事をしていると言います。人々が社会に貢献する意味合いや方法も変わってくる。つまり、時代に合わせて人間がやるべき仕事も大きく変わることです。

大田区は、緑豊かで閑静な住宅街や昔ながらの町並、多摩川、にぎわいを感じさせる商店街等が自慢の街です。4月より、高校生になる皆さんへ、ぜひ未来を見据えた、自分なりの考え方をもって生きてほしいと思います。学びのステージから、おたの未来、世界へと通じる人になってほしいと思います。

結びにあたり、本日、保護者の皆様方におかれましては、今後とも立派に成長されましたお子様への深い愛情をそそいでいただきたいと思います。そして本校のさらなる発展のために、今後とも変わらぬ御指導、御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



希望に満ちた出発(たびだち)の日に当たり、巣立ちゆく若者の前途に幸多からんことを心より祈念して「式辞」といたします。

令和2年3月19日
大田区立大森第二中学校長
菅原 淳一

卒業の言葉

「あたりまえが幸せと知った」群青のこの歌詞の意味を、私たちは今身にしみて感じています。まずはじめにこのような状況の中で私たち卒業生のために式を挙げてくださり感謝申し上げます。

3年前、今と同じように制服に身を包んでいた時、私たちはこのような卒業を迎えるとは想像もしていませんでした。3週間ほど前も、これから始まる卒業に向けての活動があたりまえにやってくると信じていました。しかし、そんな日常は虚しく消え、いつの間にか休校が決まり、実感がわかないまま、次の学校に登校するのは卒業式だと告げられ、大量の教科書を持って帰りました。バックの重さと、心にのしかかった「もう学校に来られない」という気持ちの重さが私たちを襲いました。少し面倒と覚えることもある毎日の学校生活は、あたりまえにやってくるからこそ、そう感じるものであり、それが突然失われると、なんとなく過ごしていた日々がとても大切なものを感じられ、学校に行って、あたりまえに授業を受けて友だちと話す、その行動がとても幸せなものだったと感じました。練習なしという前代未聞ではありますが、私たちは今無事に卒業式を行えています。それはこの大森第二中学校で3年間、たくさんのことを経験し、学び、どんなことも乗り越える力を身につけてきたからだと思います。合唱コンクールでうまく音程が合わせられなかった時、修学旅行や社会科見学で予定通りに事を進められなかった時…。私たちは様々な行事から何かアクシデントが起こった時に乗り越える力を身につけてきました。これからは、勉強や友人関係に悩んだり進路に迷ったり、行き詰まることがたくさんあると思います。そして、今回のように予想できないことも起こるかもしれません。そんな時は、私たちはどんなことも、この大森第二中学校で学んだこと、経験したことを大切に、困難に立ち向かっていきます。

今思い出すと、この3年間、たくさんのことがありました。運動会、移動教室、合唱コンクール…。その中でも修学旅行は2泊3日、仲間と過ごせる楽しい時間でもあり、慣れない土地での行動に戸惑う時間でもありました。そして、何より五月の奈良・京都はとても暑く、東京との寒暖差にも悩まされました。そのような状況で班行動する中で、自分だけのことではなく、班員も全員がしっかりと行動できるようにお互いの体調を気遣い、気にし合う。そのような心、思いやりが大切だと修学旅行や、その他の行事から学びました。これからの高校生活、中学校生活で学んだたくさんのこと、特に思いやりを大切に充実した学校生活を送りたいです。

そしてこの3年間、何があっても優しく、時に厳しく指導して下さった先生方には感謝の気持ちしかありません。卒業までの間に、先生方には感謝を伝える場を設けていただき予定ではありましたが、ここで卒業生代表として感謝を述べさせていただきます。気さくに話しかけてくださり、オリンピックに関わる様々な活動などを行って下さった校長先生。受験期には毎日のように面接の練習をして下さった副校長先生。いつも思いやりの精神を説いて、受験期には塩素を両手に教室を消毒して下さった嶋守先生。いつも学年集会で時間が短い中、タメになる話をして下さった下川先生。3年間毎日ホワイトボードにイラストを描いて私たちを楽しませて下さった馬場先生。2年生の頃から進路説明会などを通して受験の意識を高めて下さった富崎先生。最後に星が見られなくて残念でしたが、合唱コンクールでは楽器を吹き、私たちを楽しませて下さった大島先生。行事ごとに私たちの成長に感動して下さった町田先生。1年間という短い間でしたが、修学旅行をはじめ、様々な活動を支えて下さった佐藤先生。その他3年間、私たちにたくさんのお話を教えて下さった先生方や主事さん方。本当にありがとうございました。私たちが今、ここに立っているのは、先生方のおかげです。4月からの新生活、先生方の教えを他一説に新たな道を歩んでいきます。

また、これまでの15年間支えてくれた家族。9年間の義務教育を終え、来月からは大人の道への第一歩を歩みます。これまでたくさんご迷惑をかけたと思いますが、これからはそばですっと見守っていてください。

最後になりますが、無事に卒業式をあげることができ、卒業生一同、感謝の気持ちでいっぱいです。大森第二中学校卒業生という誇りを胸に、あたりまえの日常を大切に、これからのより一層の成長を誓い、卒業の言葉といたします。

令和2年3月19日
卒業生代表 川又萌伽

